



とよたの未来を
考えよう!

豊田市都心地区空間デザインをかんがえる。

カスタマイズとよた!

第1回市民ワークショップ

日時：6月5日(日) 開場：9:40

開始：10:00

場所：とよた参合館 6階多目的ホール

プログラム

-
- 10:00 ご挨拶・主旨説明
 - 10:10 「市民ワークショップキックオフ」の振り返り
 - 10:20 「駅前空間デザイン」素案説明
 - 10:45 第1回市民ワークショップ
 - 11:50 座長よりコメント
 - 11:55 終了のご挨拶

都心環境計画の概要について

1 目標と基本方針

目標

- ① “まちを使う・体感する”
にぎわい交流拠点の創出
- ② “まちに行く・回遊する”
交通拠点の形成
- ③ “まちを知る・発信する”
情報拠点の創出

基本方針

方針1：来街機会を増やす魅力の創出 ① ③

具体方針	内容
① 行ってみたいくなる魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な商業空間創出 各施設の整備により新たな魅力創出 来街者の印象に残る空間創出 人々が集う公共空間創出
② 利便性の高い生活環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい環境創出 安全快適に外出できる交通環境形成
③ 風土・文化・芸術を感じる演出	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域などの魅力を感じる演出 鑑賞など各施設へ誘う空間演出 伝統的なイベント時の空間創出
④ ものづくりが体験できる演出	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを身近に感じる演出 未来型モビリティを体感できる演出

方針2：滞在時間を延ばす憩い空間の演出 ① ②

具体方針	内容
① 緑あふれる空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑に包まれた憩い空間創出 緑が感じられる通りを演出
② 周辺と調和したデザイン空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> 統一感のあるデザインや眺望の演出 自然を感じる通りや空間を演出

方針3：「まち」と「さと」をつなぐアクセスの利便増進と適正化 ② ③

具体方針	内容
① 鉄道・バスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の乗換利便性の向上 バス運行サービスの向上 鉄道での広域アクセス目指す
② 自転車交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用の安全性向上 駐輪場配置の適正化、利便性の向上
③ 自動車交通の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 都心に目的のない自動車誘導 歩車共存を見据えた走行環境形成 効率的な駐車場システムの更新

方針4：歩きたくなる快適で安全な回遊環境の形成 ② ③

具体方針	内容
① 安全で歩いて楽しい歩行空間を確保	<ul style="list-style-type: none"> 一体的に繋がる回遊しやすい空間創出 周辺施設への安全な歩行空間形成
② 都心の魅力を迅速に情報発信	<ul style="list-style-type: none"> まちなかを回遊したくなる情報提供

2 対象区域



松坂屋・T-FACE



豊田市美術館



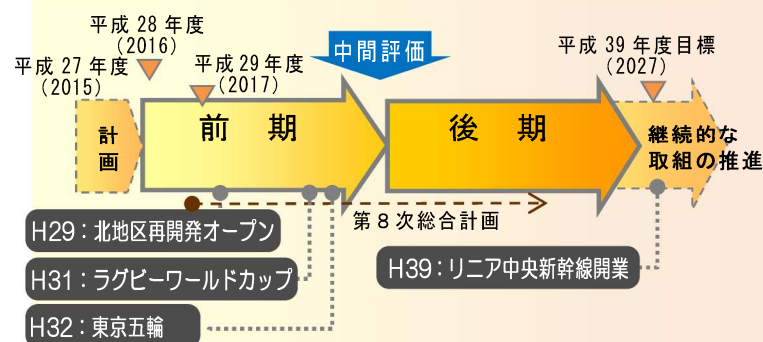
コンサートホール(参考館)



スカイホール豊田

3 計画期間

本計画の期間は、平成28年度(2016年度)から平成39年度(2027年度)までの12年間とする。都心のにぎわい創出に向けた多様な取組の推進については、リニア中央新幹線の開業を概ねの目標とするが、ラグビーワールドカップ開催を1つの節目として、随時評価・見直しをしながら、継続的に実施していく。



目標指標

項目	H26 数値	目標値
① 歩行者数	78千人/日	100千人/日
② 鉄道・バス利用者数 ^{※1}	47千人/日	62千人/日
③ 施設利用数	370万人/年	480万人/年
④ 商業の売上高 (テナントミックス事業対象店舗)	190億円/年 ^{※2}	265億円/年 ^{※3}
⑤ 満足度(にぎわい、魅力度、うるおい、愛着度等)	25% ^{※4}	32%

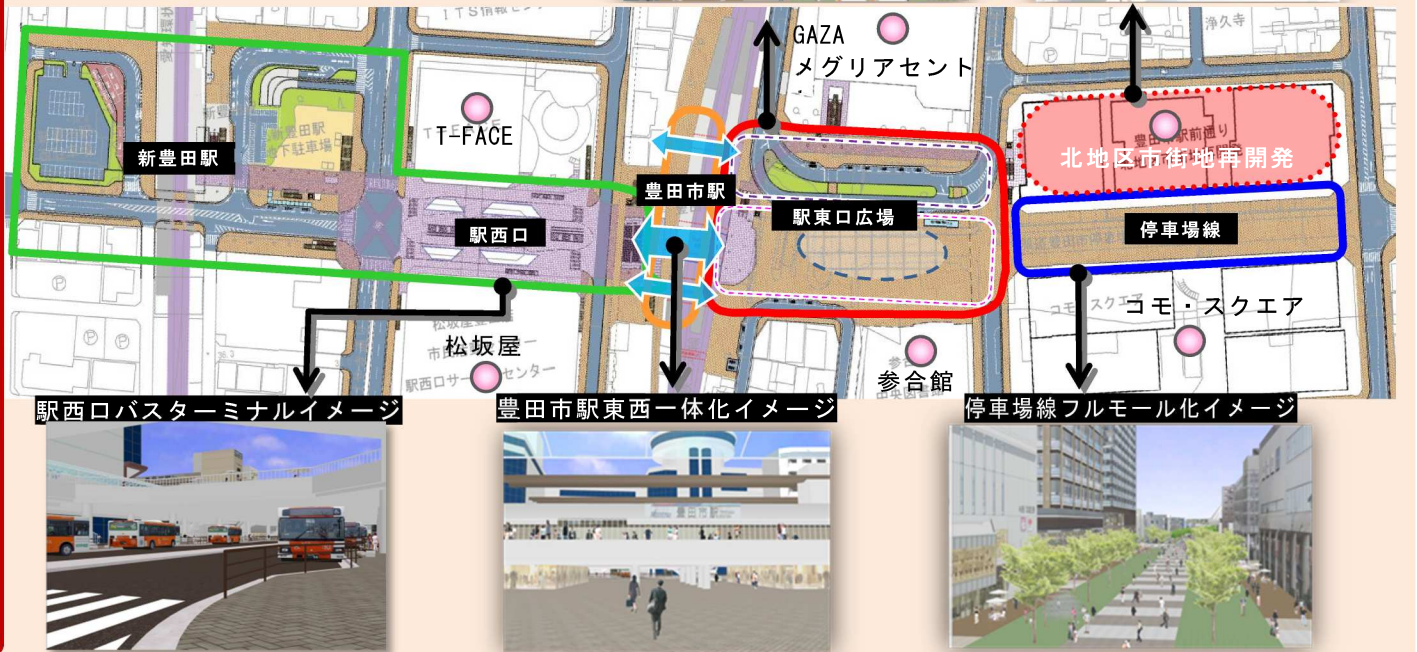
※1 バス利用者数は、おいでんバスの豊田市発着路線の全利用者数
 ※2 平成25年数値
 ※3 平成31年目標数値
 ※4 数値は、にぎわいのみ

4 魅力創出重点ゾーン*での展開イメージ

*豊田市駅周辺を中心に商業機能、公共空間機能、交通機能の確保に向けて重点的に施策を展開するゾーン。

空間再整備(つくる)の展開

本市の玄関口として、多様な来街者に対する利便性の高いおもてなし空間の提供に向け、新たな交通拠点を形成するとともに、駅周辺に新たな魅力と憩いの場を提供する公共空間を創出する。



空間活用(つかう)の展開

豊田市駅周辺に立地する既存商業施設や北地区市街地再開発事業等を中心に、商業環境に新たな魅力を創出する。

また、既存の公共空間や民間の広場のスペースとそれに隣接する建物の低層階をあわせて、人のための魅力的な空間に再編し、多様な主体が憩える、新たなチャレンジができる『まちなかの居場所』を創出し継続的に運営する。特に駅前には豊田が感じられるおもてなしの機能を充実する。

中心市街地テナントミックス事業

【対象(○)】: T-FACE、松坂屋、ギャザ、コモ・スクエア、北地区市街地再開発、VITS豊田タウン、名鉄プラザ、参考館、商店街の機能連携】
 ◇それぞれの店舗の役割に基づいて感度年齢のカバーを広げることで、顧客を共有しあい、施設間の連続性と回遊性を創出する
 ◇デッキとグランドレベルで東西一体的な回遊環境を創出することで、施設単体では実現できない商業環境を創出する

ウェルカムセンターの設置

都心の来街者の誰もが、目的地までの情報を気軽に収集できるようになる



まちなか広場空間活用推進



自らのまちを使いこなす市民や企業を擁護し、イベントのみでなく、日常の風景として継続できる空間や仕組みを、段階的に実験を重ね、市民の手で運営する。

<西口ペDESTリアンデッキ>

ワーカーや買い物客等の憩いスペース
 ワーカーや学生、買い物客、バスの利用者が、休憩に利用するとともに、駅周辺ワーカーのランチスポットや市民への情報発信スペースとなる。

<東口広場>

豊田内外の活動・おもてなし拠点
 日常的に市民がくつろぎ、様々な活動をしている風景が「まちの顔」となり、国内外の来街者が、豊田の魅力を直感的に体感できるスペースとなる。

<停車場線>

近隣住民や施設の中庭
 隣接シネコン等の施設利用者、近隣住民等が、施設の中庭として、テラスのカフェで、くつろぎ・散歩するほか、子どもが安心して遊べる仕掛けを展開していくスペースとなる。

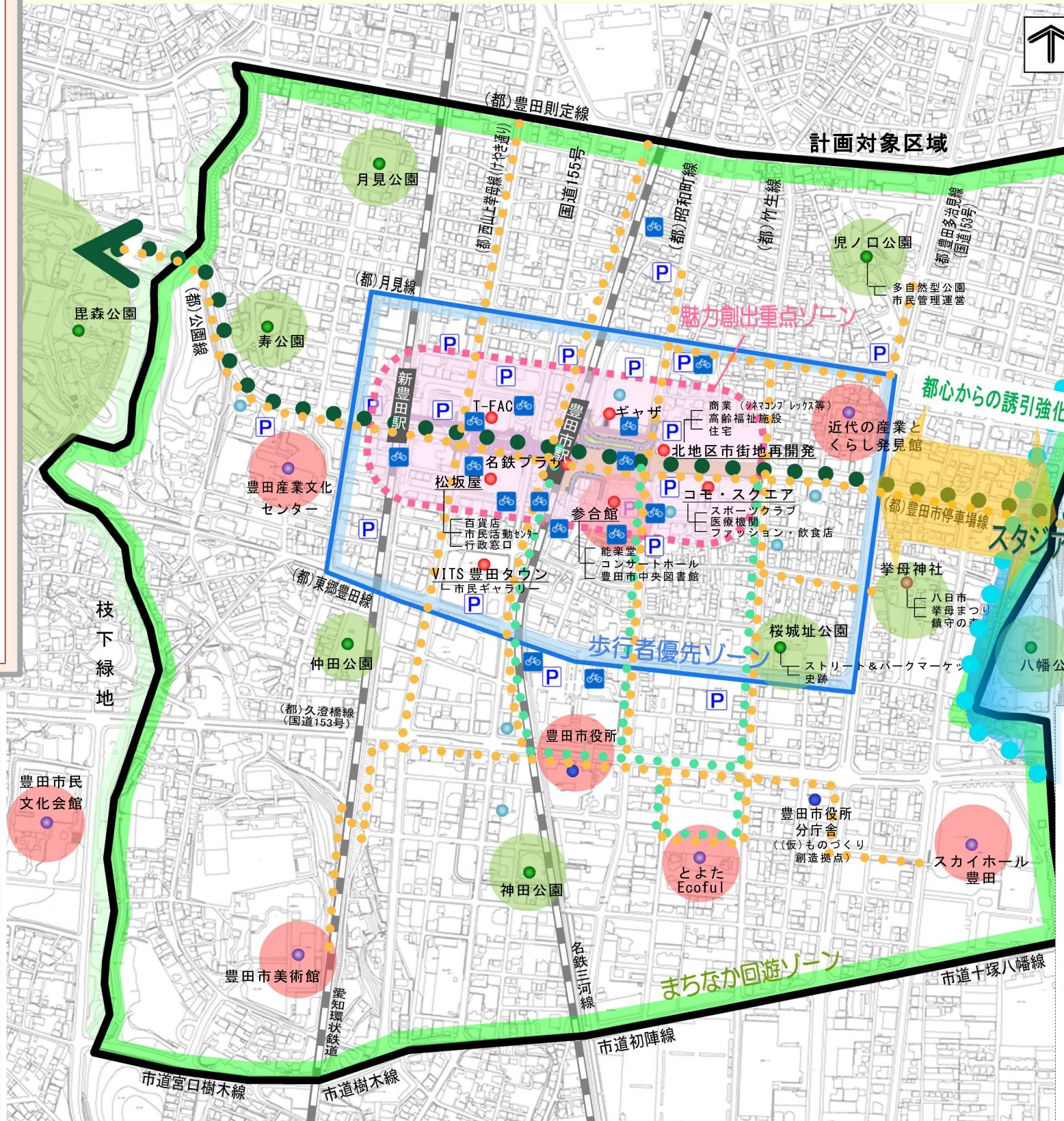
空間再整備（つくる）の施策

- バスターミナル整備（豊田市駅西口バスターミナル集約）
- バスルート改編（バス運行の改編）
- 西口ペDESTリアンデッキ整備
(バスターミナル集約に伴う改築、耐震性能確保)
- 駅前広場整備(愛環西口)
- 駅前広場整備(愛環東口)
- 西山上挙母線(けやき通り)整備
- 国道155号整備(トランジットモール化等)
- 豊田市駅の整備
- 駅前まちなか広場整備(名鉄東口)
- 東口ペDESTリアンデッキ整備
(北地区市街地再開発連絡機能、耐震性能確保等)
- 北地区市街地再開発事業の推進
(商業・シネコン、都心居住・高齢者施設)
- (都)豊田市停車場線整備
(フルモール化の実験的運用、本格運用)
- 都心部の親水空間整備
- 都心緑化創出事業
(グリーンプロムナード、民有地緑化運営支援、都市緑化フェア)
- 緑化施設整備
(北地区市街地再開発、駅前広場、豊田市停車場線、西山上挙母線等)
- 新たなモビリティ拠点等の整備
- 歩車共存道路整備
- ゾーン30拡充
- サイン施設再整備
- 自転車走行ルートの整備
- 駐輪場再整備

活用しやすい空間整備

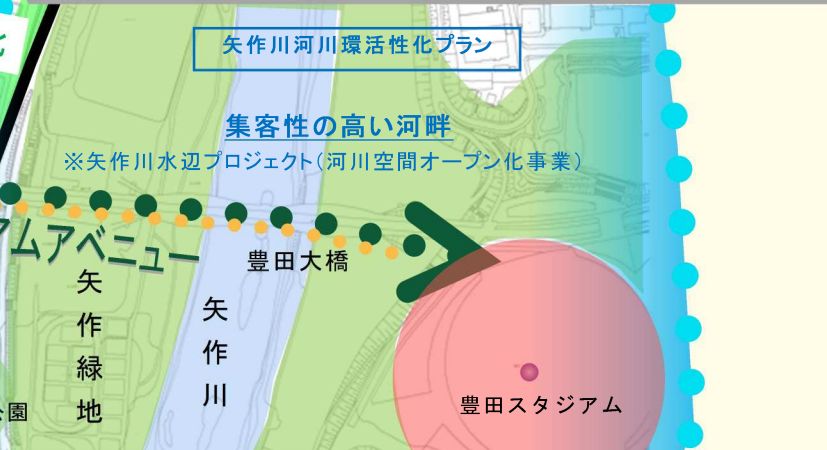
両輪

整備した空間の有効活用



空間活用（つかう）の施策

- 中心市街地テナントミックス事業
(T-FACE、松坂屋、ギャザ、コモ・スクエア、北地区市街地再開発、VITS豊田タウン、名鉄プラザ、参合館、商店街の機能連携)
- 大型商業施設等における公共空間利用促進
(広場、トイレ、休憩スペース等の改修)
- 空き店舗等を活用した新たな商業・サービス業の創出
(リノベーションまちづくりビジョン策定、リノベーションスクール開催等)
- 商店街等と都心公共施設のイベントの連携
(テーマ week の実施等)
- 都心公共施設の利用促進
(豊田スタジアム、豊田市中央図書館、コンサートホール、美術館等)
- ウェルカムセンターの設置 (総合案内、国際化対応等)
- まちなか広場空間活用推進 (実験的運用、本格運用)
- まちなかにぎわい・回遊性向上
(まちパワーフェスタ、映画を活かしたまちづくり等)
- 駐車場の利便性向上
(駐車場機能のサービス向上、利用の平準化等)



凡例	
●	商業・複合施設
●	公共施設
●	公園
●	神社
●	ホテル
●	文化・芸術・スポーツ等施設
P	駐車場
🚲	駐輪場
●	集客性のある公共施設
●	緑の拠点
●●●	回遊ネットワーク ※都心中心部の店舗・施設のほか、都心内の商店街や各種公共施設を回遊する際に推奨するルート
●●●	グリーンプロムナードほか ※都心の顔の象徴とし、緑あふれる都心形成をするために「緑の見える化」を図り、緑が連続する回遊空間を創出することを目的として位置付けた路線

主な施策	前期		後期		後期以降
	北地区市街地再開発オープン	ラグビーWC	東京五輪	リニア中央新幹線開業	
【空間活用(つかう)】					
中心市街地テナントミックス事業	[Progress bar]				
空き店舗等を活用した新たな商業・サービス業の創出	[Progress bar]				
ウェルカムセンターの設置	[Progress bar]				
まちなか広場空間活用推進	[Progress bar]				
まちなかにぎわい・回遊性向上	[Progress bar]				
【空間再整備(つくる)】					
バスターミナル整備	[Progress bar]				
西口ペDESTリアンデッキ整備	[Progress bar]				
豊田市駅の整備	[Progress bar]				
駅前まちなか広場整備(名鉄東口)	[Progress bar]				
道路空間再整備(西山上挙母線整備、自転車走行ルート整備等)	[Progress bar]				

※計画時点につき、今後、各施策等の事業進捗により見直す場合があります。